

まちづくり工房 事業報告会

霞溪舎 1年間の取り組みからみえたこと

まちづくり工房運営委員会
平成30年3月23日（金）

本日の流れ

- 19:00～ 代表挨拶
役場より木藤さんの紹介、まちづくり経緯【資料1～5】
(10分) 企画課 國枝
- まちづくり工房 霞溪舎のあゆみ【資料6～15】
(20分) 馬淵・参加型の紹介
- 19:30～ ワーク 「霞溪舎」について語ろう 【資料16】 (30分～40分)
- 20:10～ グループ発表 (20分)
- 20:30～ クロージング (まちづくりに対して 木藤さんより)
- 20:55 今後に向けて 企画課 小川・運営委員 小川



池田町のまちづくり（地方創生）

池田町のこだわり



アイデア工房会議と池女会に見えてきた町の目指す方向性

- 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになる
- 人とのつながりや話りの楽しさがある
- 町民がいきいきと働ける



①「アイデア工房会議」と「池女会」
 既存事業を多く抱える立場のみでは、予算面でも人材面でも限界があります。そこで、行政と町民が一緒になって、町の課題やその解決方法を考える会を企画しました。アイデア工房会議と池女会は、それぞれ計5回、合計15時間実施。
 少人数グループに分かれて、各テーマについて議論。その結果、15プロジェクトが誕生！これらを全て総合戦略に位置づけました。

アイデア工房会議	池女会
テーマ 農業、観光、交通、教育、福祉、移住定住	結婚、出産、子育て、日常生活
対象 町内町外問わず若者男女	町内町外問わず20~40代の女性
参加人数 40名	28名



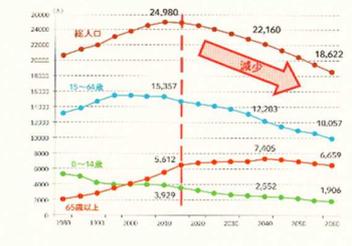
町民と行政の協働

人口減少時代を迎えた日本。このままでは、2040年、約半分の自治体が消滅と言われていています。池田町も例外ではありません。このまま人口が減り続けると、養老鉄道の廃線、池田高校の廃校、若い世帯の流出、子どもの声が聞こえない限界集落となる可能性があります。このような未来を子や孫に残さないため、今、**人口減少に立ち向かう必要があります。**

町の目標値

- 7,550人 (2012年) → **8,000人** (2018年) **町内従業者数** 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける
- +2.4%** (2013年~2019年) **池田町の観光客数伸び率** 町民が町に愛着を持ち、PRできるよくなることで、新しいひとの流れをつくる
- 189名 (2014年) → **221名** (2030年) **出生数** 新しい世代の結婚・子育ての希望をかなえる
- 86組 (2013年) → **119組** (2030年) **婚姻数**
- ±0人** (2015年~2020年) **10~30代の社会増減数** 中高生と社会をつなぐなど、時代に合った地域をつくる

人口目標 20,000人 (2060年)

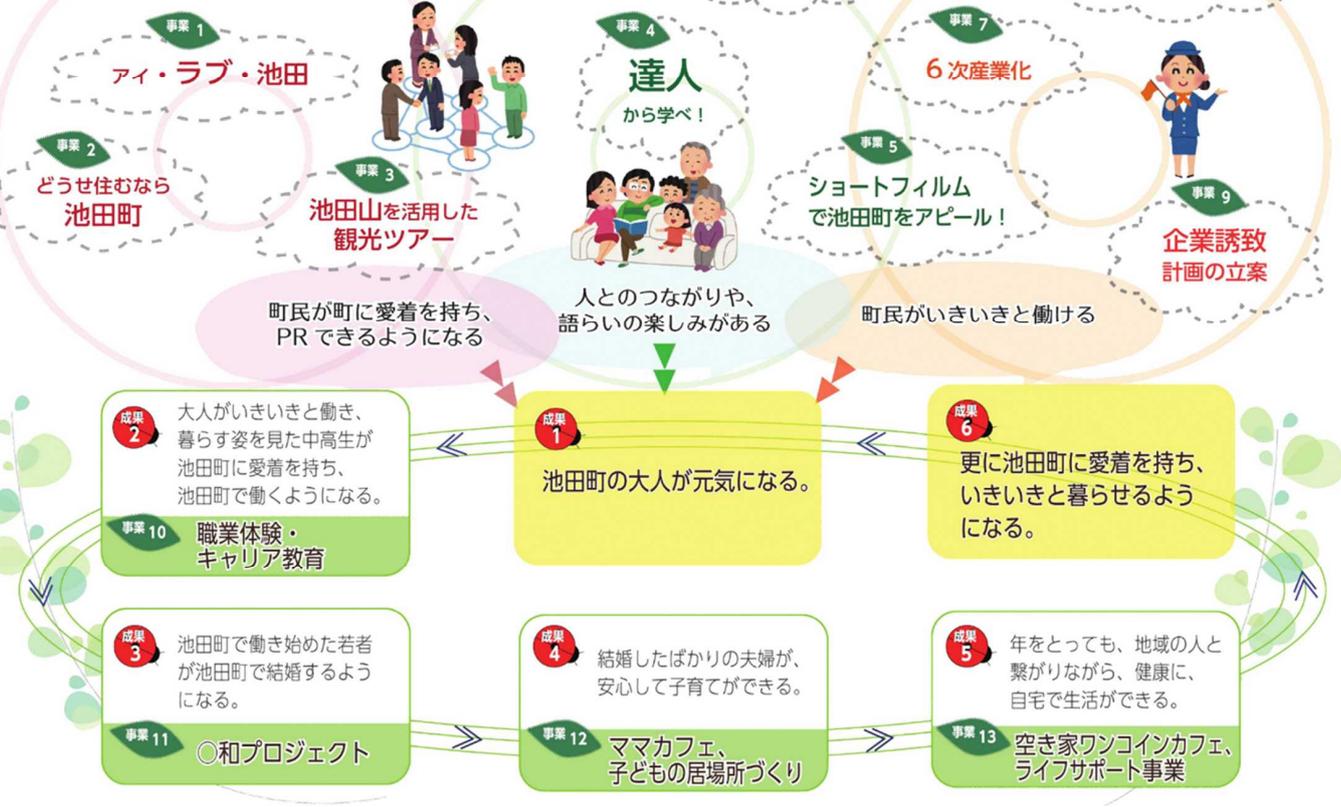


地方創生

人口減少に歯止めをかける有効策は、東京への人の流れを止めることです。それは、各地域が、町にしっかりと向き、就業・結婚・子育ての希望を叶えることが大切です。各自治体は、地方創生総合戦略をつくり、改善を重ね、実行し続けることが求められています。

池田町 総合戦略全体マップ案

愛着・元気・つながりの池田町創生サイクルによる地域創生



まちづくり工房プロジェクトの歩み

地方創生事業「町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト」
池田町まちづくり拠点

3/18「霞溪舎」9:00~15:00
(土) オープニングイベント IN池野駅

「まちづくり工房」を
生み出しました。

未来へ繋がる大切な場所

体験・販売ブース

- 自転車スピードコンテスト
- フライングディスク体験
- 木工射的体験
- 高齢者よる相談体験
- カイロプラクティック体験
- 健康促進ツボ押し体験
- 駄菓子販売
- 農産物販売
- 特産品販売
- 珈琲はうす
- おおくぼさんちのおやつ

まちづくり工房本部ブース

- 養老鉄道行灯(あんどん) 撮影会 11:00~15:00
- 振る舞いイベント①(特製スープ) 11:30~ ※無くなり
- 振る舞いイベント②(ぜんざい) 14:00~ ※終了

まちづくり工房「霞溪舎」

- 竣工セレモニー 9:00~9:30
- 養老鉄道行灯(あんどん) お披露目 10:00~10:30
- まちづくり工房「霞溪舎」内見学会 11:00~15:00

主催:まちづくり工房プロジェクト
後援:池田役場(池野駅) 0585-45-3111

WORK SHOP

wood works
paint works

募集 参加者!

day 1 3/5 9:00-12:00 定員者10名(催)

家具作りワークショップ

day 2 3/12 10:00-12:00 定員者10名

塗り壁ワークショップ

参加費 無料

お申し込み

TEL: 0585-45-3111 FAX: 0585-45-8314 E-mail: yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

池田町地方創生 // あんなでつくるまちづくりの拠点「霞溪舎」3/18(土) OPEN!! です



地方創生プロジェクトの概要

平成29年度 実施の地方創生総合戦略プロジェクト

平成30年3月9日 総務部企画課

プロジェクト名	事業費(万円)	担当課	町民メンバー	実施経過	最終目標	進捗状況	今後の予定/進捗形態
基本目標1 町民と役場が協力しながらまちづくりに取り組む							
① 町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト							
	12,483	企画課	11名 (運営委員会) 7名	・養老鉄道池野駅舎を改修し、まちづくり活動拠点「霞溪舎」の整備。 ・指定管理者「まちづくり工房運営委員会」を選定。	・コーディネーターが支援したまちづくり活動団体・イベント数 5件/年(2020.3)	・集客の促進、池野駅周辺イベントの支援 ・ワークショップ(わかも会)の開催 ・まちづくり・ひとづくり座談会の開催 ・フラッグシップモデル事業で、組織づくりプロデューサー木藤氏を招聘 ・運営委員会実施計画の策定	・運営委員会の実施計画に基づく活動 ・一町民が組織をつくって活動 役場も活動をサポート
基本目標2 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける							
② 「山のふもと水さらら」IT・SNSを活用した農産物等の情報発信、販売							
	0	産業課	組合 12名	・池田町の農産物の特産品としてPR・販売するウェブサイトの構築。 ・「山のふもと水さらら」販売組合の立ち上げ。	ウェブサイトの閲覧数 15,000件/月(2020.3) ウェブサイトによる販売額 30万円/月(2020.3)	・組合員を再募集 ・組合員がSNSを学び、情報発信 ・販売サイトの再構築 ・ふるさと祭、イベント等への出店による販売促進	・特産品数の増加 ・一町民が組織をつくって活動 役場は立ち上げ時のサポート
③ 「BABAラボ 岐阜池田」100歳まで働ける場の創出							
	3,600	企画課	-	・ラッキー工業(株)による道の駅池田温泉「BABAラボ岐阜池田」の立ち上げ。 ・グッズの開発、製作、販売	高齢者スタッフの雇用数 35名(2019.3) 売上額 1,250万円(2019.3)	・グッズの開発、製作、販売 ・「BABAラボさいたま」の連携 ・高齢者開発グッズ(夜光タスキ)の配布、顧客調査 ・多世代交流サロンの開催	・新たな高齢者開発グッズの開発、製作、販売 ・一企業が主体的に活動 役場がサポート
基本目標3 町民が町に愛着を持ち、PRできるようにすることで、新しいひとの流れをつくる							
④ 「いい塩梅のまち」池田山を活用した体験交流ツアーの実施							
	692 41,765	産業課	3名	・体験交流ツアーの設定 ・ツアーガイドの育成 ・ツアーコースに必要な施設の整備	ツアー年間参加者数 300人/年度(2020.3) 西濃地域1人当たりの観光消費額 3,700円(2019)	・体験交流ツアーの企画、実施(全3回)(7/22、12/16、3/10) ・大津公園園バーベキューガーデン、トイレ等の施設整備	・観光客の利便性を向上させるため、町道や林道の整備 ・一役場と委託業者が主導 町民が活動サポート
⑤ 「I love Ikeda」町民による池田の魅力発信							
	648	産業課	6名	・町民編集員による情報誌の作成 ・「I love Ikeda」part1、2の発行	池田町の魅力を、他市町に進めたいと感じる人の割合 70%(2020.3)	・編集員に池田高校生、町民メンバーを依頼 ・編集委員会の開催 ・「I love Ikeda」part3の作成 ・ふるさと祭にて「いけ本」のアンケート調査を実施	・継続した「I love Ikeda」の発行 ・一役場が活動をリード 町民に役割をお願い
⑥ ショートフィルム・You Tubeなどで池田町をアピールしよう							
		企画課 産業課	8名	・PR動画の作成	池田町の魅力を、他市町に進めたいと感じる人の割合 70%(2020.3)	池田町の紹介動画とストーリー仕立て動画を企画、作成 町民メンバー スタッフ:3名 撮影モデル:5名	・池田町の紹介動画とストーリー仕立て動画の発信 ・一役場が活動をリード 町民に役割をお願い

平成29年度 実施の地方創生総合戦略プロジェクト

平成30年3月9日 総務部企画課

プロジェクト名	予算額	担当課	町民メンバー	実施経過	最終目標	進捗状況	今後の予定・進捗形態
基本目標4 若い世代の結婚・子育ての希望をかええる							
⑦ 「O和プロジェクト」若者コミュニティの活性化により結婚へつなぐ							
	540	健康福祉課	3名	・同窓会(25歳会)開催の支援 H28 ・「同窓会実行委員会」の立ち上げ ・婚活イベントの開催	結婚数 100組/年度(2020.3)	・同窓会(30歳会)を実施 ・同窓会後の継続イベント(カフェ交流)の実施 ・婚活イベントを実施(全2回)(11/11、2/24) ① 婚活BBO in池田 ② 大人の婚活in吉良家	・継続したイベント実施につながるよう支援 → 役場が活動をリード 町民に役割をお願い
	-	企画課	4名	・池女会を通じた町在住ママ達の集まり「Muuwa」の立ち上げ	ママカフェへの来訪者数 200人/年度(2020.3)	・ワークショップ、講座の実施(全12回) ・紹介チラシの作成	・ワークショップ、講座の継続実施 ・助成金を受け、活動規模を拡大
⑧ 子育て・就労応援センターの整備							
	134,933	健康福祉課	-	・子育て・就労応援センターの整備	学習講座へ参加した人数 50人/年度(2020.3)	・用地購入、造成、建設工事 ・建設工事 → H30年2月28日完成	・H30年4月1日より 子育て・就労応援センターの運営
基本目標5 中高生と社会をつなぐなど、時代にあった地域をつくる							
⑩ 職業体験・キャリア教育を通じて、児童生徒の郷土愛を育む							
	5,912	学校教育課	5名	・キャリア教育プログラムの作成 ・コーディネーターの育成・研修 ・道徳指導システム等の導入 2名 ・資格取得に対する助成	週末、池田町で働きたいと思う中3・高3生の割合 15.7%(2019.3)	・キャリア教育コーディネーター主導の、キャリア教育プログラムの作成 ・職場体験 事前事後学習 ・池中15のリアル ・学校を飛び出してOQ/OBを訪問しよう ・資格取得に対する助成	・キャリア教育の推進 ・資格取得に対する助成 → 外部人材と役場が主導 町民が活動サポート
⑪ 「達人から学べ!」町の達人と町民の交流の場づくり							
	727	社会教育課	13名 (達人) H27 10講座 H28 11講座	・町の達人と町民の交流プログラムの実施	参加者が達人の教室やお店に、また行きたいと思った人の割合 70%(2017.3)	・11プログラムを選定。パンフレットの作成、配布。 ・9/7より、受付開始。10/4より、講座の開催	・継続した「達人に学べ」の実施 ・助成金を受け、活動規模を拡大 → 役場が活動をリード 町民に役割をお願い
⑫ 街を明るくするプロジェクト							
	-	企画課	-	・町全体を明るくするイベント(養老鉄道列車の行灯をつくる)の実施(H28)	街を明るくするイベント実施件数 1件(2017.3)	・養老鉄道池野駅にて「まちづくり工房運営委員会」と「わかも会」が共 ・イルミネーションを企画 ・12/10に養老鉄道池野駅にてイルミネーション点灯式を開催	・養老鉄道沿線にてイルミネーションの継続実施 → 役場と委託業者が主導 町民が活動サポート
基本目標6 広域連携により圏域の新たな魅力をつくる							
⑬ 揖斐池田サイクルトレイン日本一への挑戦プロジェクト							
	738	企画課	-	・GPS機能付き電動アシストレンタルサイクルの整備 ・池田・揖斐川レンタルサイクル推進協議会の立ち上げ	西濃地域の池田町へのレンタルサイクル波及台数 50台(2020.3)	・7月より中央公民館より池野駅にレンタルサイクル10台を移設 ・「岐阜のまちゅピチュ天空の茶畑へ行こう!」イベントの企画・運営 ・レンタルサイクルのPR	・「岐阜のまちゅピチュ天空の茶畑へ行こう!」イベントの継続実施 → 役場と委託業者が主導 町民が活動サポート
⑭ 西美濃地域定住促進PR事業							
	75	企画課	-	・西美濃地域3市9町にて「西美濃創生広域連携推進協議会」を設立	西濃地域における観光客数 1,512万人(2020.3) 西濃地域における転入者数 12,600人(2020.3)	・西美濃地域3市9町にて移住促進PRイベント(東京・大阪・名古屋)に 出展 ・西美濃地域3市9町にてPRガイドブック、サイト制作、運営	・西美濃地域3市9町にて移住促進PRイベントに継続出展 → 各市町と委託業者が主導

平成29年度 池田町地方創生プロジェクト

○岐阜県池田町版地方創生総合戦略

池田町の大人が元気になる!!

池田町総務部企画課

平成29年4月1日～ 池田町まちづくり工房「霞溪舎」(養老線池野駅駅舎)

まちづくりの拠点

(アイデア工房・池女会) ⇒

池田町役場 (企画課・職員メンバー)

池田町まちづくり工房運営委員会
(トータルコーディネーター)

池田町まちづくり工房運営委員会
(指定管理者)

・まちづくり推進事業
ワークショップ・イベント
・発表会・各プロジェクト
のマッチング

条例・仕様書
・まちづくり推進
・地域振興
・女性活性化
・移住定住促進
・レンタルサイクル運営

マネージャー
プレイヤー
定型業務

・まちづくり工房「霞溪舎」
集会室の貸借、窓口
・養老鉄道推進事業
・レンタルサイクル事業

条例・仕様書
・運営管理
・利用の促進
・利用の許可
及び制限

アイデア
工房会議

池女会

ピアステー
ション

ネコトレイン

わかも会

各プロジェクト
(平成27年度～)

池田町地方創生会員

ママカフェ

キャリア
教育

人財
「達人に
学べ」

サイクル
トレイン

まちを
明るくする
「行灯」→
「イルミ」

特産品
「山のふもと
水さらら」

応援助成
金(アイデ
アコンペ)

BABAラボ

若者
「O和」
婚活

子育て・
就労応援
センター

移住
コンサル
ジュ

池田山
「まるっと体
験交流」

再発見
「いけ本」
「動画」

○まちづくり活動

NPO

土川商店

宇宙食堂

忍者列車

企業誘致

ライフサ
ポート・ワ
ン
コイン

霞溪舎 始動



利用時間: 午前9時～12時
午後1時～5時
午後6時～9時
定休日: 毎週水曜日
年末年始
(臨時休業あり)
利用はホームページから予約も可能です。

いけだの
じかん

霞溪舎はまちづくりの拠点施設。この拠点は池田町の入り口でもあり、住民同士が繋がり次につながる出口でもあります。様々ないけだのじかんを多くの方に発信するためのホームページを作成しました。



健康の活動



毎月第2・4月曜日（足つぼ）木曜（カイロ）を開催

利用者の声：今まで遠くのお店に行っていたが、近くで行きやすい
なかなか行くことができなかったが、近くなら行きたい。

学びの活動



- 子ども学習の場
書道教室
公文教室
オンリーワン教室
- 親子の体験型講座
梅収穫体験
電気教室
読書感想文講座
- 大人の学び舎
朝活読書
「お話」シリーズ

趣味の活動



- 池田の梅収穫体験
- フラワーアレンジメント
- **己書教室**
- 絵本作り
- **コーヒー座談会**
- 小物市
- 海外の絵本展示
- 養老鉄道の話
- クリスマスコンサート
- つまみ細工
- 池田中学同窓会
- 落語会
- **お絵描き交流会**
- **キットパス**
- **てまりの会**

福祉の活動



- **高齢者よろず相談 (月1)**
- **ライフサポート会議 (月1)**
- **池田町委託介護予防事業「ひらめき教室」 (月1)**
- **ママカフェ (月1)**

予防教室の参加者：養老鉄道に乗ってみんなと何処かに旅行したい。

木のぬくもりで温かい空間。ワークショップをしたい

→①4月7日に出展。 ②薬膳列車ツアー検討中

	来場者数	備考
4月	4 4 1	オープニングイベント
5月	2 6 6	養老トレクル管理委託
6月	2 3 4	養老鉄道利用促進事業
7月	3 8 3	
8月	6 8 5	ビアガーデン
9月	7 3 6	ハピ猫トレイン
10月	4 1 6	
11月	3 8 2	
12月	9 4 1	池田に行って恋・クリスマスコンサート
1月	3 6 0	養老スタンプ開始
2月	3 2 4	5, 1 6 8

集う住民の声を支援

- ・霞溪舎で出会った住民同士がつながる

「わかも会」 池田町内の中学生から若年層

①池田を知る 「池田温泉の話」

「棚橋牛乳の話」

②若者を知る 「海外研修の話」

回を重ねて、メンバー同士が理解し合い何か活動したいよね（だよなー！）

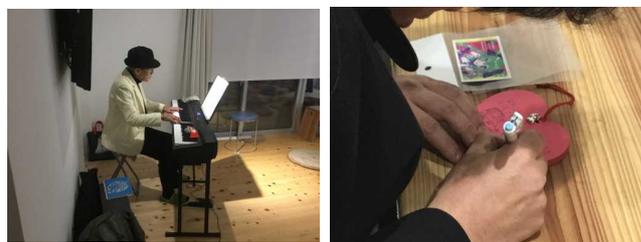
「まちを明るくするプロジェクト」

運営員会×わかも会 （企画する楽しさ・苦労）

参加企画型 クリスマスイベント



考える→計画する→実行→修正
PDCAを実践して学ぶ



運営する中で見えた事

- できたこと：年間5000名を超える来場者
（町外・海外からの声）
駅としての機能（窓口業務）
広報（ホームページ・広報）
- 課題：初年度は稼働率42%
住民同士が繋がるコーディネート
更なる発信力（メディア以外）
- 今後につなげること
組織力の体制強化
今までの取り組みを丁寧に継続